

(様式2)

# 学校関係者評価報告書

愛媛県立今治北高等学校大三島分校  
学校番号( 16 )

評価実施日		令和3年2月19日(金)	
委員	氏名	所属等	備考
	松岡 洋介	今治市立大三島中学校長	
	小笠原誠宗	大三島分校PTA会長	
	越智 義廣	上浦地域代表	
	田原 一寿	上浦地域代表	
	多和 祥行	大三島地域代表	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <p>個別の支援が必要な生徒や生徒間の学力差など、生徒が多様化している中で、生徒一人一人の実態に応じた分かりやすい授業が実践されている。先生方のご苦勞も多いと思うが、生徒一人一人の学力向上のために継続して取り組んでもらいたい。また、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域との協働による活動に大きな制約が生じたが、次年度以降、状況を見ながら総合的な探究の時間を活用して積極的に活動してほしい。</p> <p>(2) 生徒指導</p> <p>生徒の基本的な生活習慣の確立に向けてよく努力していただいた。皆勤率が目標より低い値であったことは残念だが、生徒のために引き続き効果的な指導をお願いしたい。部活動や特別活動は少人数ながらよく頑張っていると評価できる。</p> <p>(3) 進路指導</p> <p>就職、進学ともに全員の進路が決定しており、充実した進路指導が展開されたものと評価できる。国立大学への合格者も出ており、補習や個別指導の成果であると思われる。1、2年生に対しても、自己の進路を早期に明確にさせ、努力させる指導をお願いしたい。少人数ならではの個別指導の成果を強くアピールすべきである。</p> <p>(4) 家庭・地域との連携</p> <p>PTAの会合の書面開催や学校行事の縮小など、活動に制限がある中で、PTA評議員会、振興対策協議会を開催し、保護者や地域の意見を学校運営に取り入れたことが評価できる。次年度も保護者や地域と連携した取組により、課題の解決を図ってほしい。</p> <p>(5) 組織運営</p> <p>オンラインでの学校説明会の開催など、知恵と工夫による積極的な活動は評価できる。次年度は再編整備の基準となる31名以上の志願者を得るよう一層努力してほしい。また、教員の働き方改革は喫緊の課題であると認識している。引き続き改善に向けた取組を行ってほしい。</p> <p>2 学校運営への提言</p> <p>○小規模校の良さを活かした教育活動と中学生へのPR活動の充実</p> <p>○授業公開の定期的な開催と授業研究の実施</p> <p>○生徒一人一人の進路実現</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>すべての教科・科目において、生徒の実態を正確に把握し、全体的な学力の向上を目指して授業を実践する。</li><li>地域との協働による活動は、大三島分校の特色である。次年度は新型コロナウイルス感染症の状況を正確に見定めながら、実施可能な活動に取り組む。</li><li>学校生活を基本とした生活習慣の確立に引き続き努め、皆勤率の向上を目指す指導を実践する。</li><li>部活動では活動内容を工夫し、少人数でも成果を上げることができるように効率よく取り組む。</li><li>生徒の進路希望に応じた進路指導体制を確立し、次年度以降もすべての生徒の進路を決定する。</li><li>大学進学希望者に対する個別指導を充実させ、国公立大学への合格を目指すとともに、少人数ならではの学習の良さとその効果を積極的に中学生とその保護者にPRする。</li><li>定期的に行われるPTA評議員会や振興対策協議会で保護者や地域の方々の意見・提言を積極的に募り、より良い学校づくりに活かす。</li><li>新型コロナウイルス感染症の状況を正確に見定めながら、連携活動の場を設ける。</li><li>次年度も積極的に大三島分校をPRし、31名以上の志願者を得ることができるよう、教職員・生徒が一体となった活動を展開する。</li><li>引き続き休暇取得推進週間や定時退庁日を設け、教職員の働き方改革を積極的に推し進める。</li><li>本校の利点でもある、地域との連携・協働体制を生かした教育活動を推進する。また、授業公開や授業研究により教員の指導力を向上させる。</li></ul>